



新型コロナウイルス 対策について

感染症対策委員会 委員長 吉崎 友希

施設では、2月末より新型コロナウイルス感染症への対応を強化し、感染防止対策を実施しています。職員については、出勤前の体調確認、検温の実施を行い、発熱等の体調不良時には出勤を控えます。職員の同居のご家族に体調不良者が発生した場合も、同様の対応を実施しています。

3月末頃よりコロナウイルスの流行に伴い、消毒液やマスク等の入荷が滞るようになりました。平常時は欠品しないものが、手に入らない状況となり、手作りマスクの材料を施設にて購入し、作成したマスクを職員へ配布しました。消毒液については、代替の手指用消毒液を購入する等、都度検討を行いながら、その時に最善と思われる対応に努めています。

施設には職員を含め、多くの方が日々訪れます。ご家族様、ボランティアの方々、訪問歯科のスタッフ、散髪の理美容師の方々等、他にもたくさんの方が施設に来所して下さり、ご利用者様の生活を支えています。施設での生活を快適に過ごしていただく事が、ご利用者様にとって1番であると思いますが、コロナウイルスにより、快適な生活よりも安全である事を優先せざるを得ない状況になりました。コロナウイルスは施設で新たに発生する事はなく、外部から持ち込まれる事により、施設内で発生してしまいます。現状、ワクチンや薬がない為、感染症の基本である手洗い、手指消毒、うがい、体調管理を行い、持ち込まない為の対策を徹底するほかありません。

ご利用者様の安全を図る為、緊急事態宣言中のご面会は中止させて頂き、解除後も完全予約制にて感染症対策を実施の上、時間、人数を制限させて頂いた状態で、実施しております。訪問パンの販売は納品して頂いたものを職員が代行するかたちで購入し、ボランティアの方々の活動は現在も中止して頂いております。施設機器類の修理等で来所されます業者の方々につきましても、体調確認と検温、マスク着用にご協力頂き、ご利用者様と接する事のないよう、動線や時間を配慮し対応しています。

施設職員である私たちは、自身がコロナウイルスへ感染する恐怖もありますが、感染源となりご利用者様へ移してしまうという恐怖と隣り合わせの日々でもあります。ご利用者様の安全を守りながら、職員の不安を軽減できるよう、今後も都度検討を行い、職員全員でこの難局を乗り越えていきたいと思っております。



文 音

第19号

発行年月★令和2年7月

発行★
社会福祉法人 檀生会
特別養護老人ホーム

山の手フラワーヒル

〒299-1123

君津市大山野875

☎0439 (55) 8601

☎0439 (55) 8854

✉ y-flower@onyx.ocn.ne.jp

運営理念

◎ご利用者の幸せを追求する

山の手フラワーヒル

◎地域社会へ貢献する山の手フラワーヒル

サービス

当施設での面会の対応について

サービス課 生活相談員 白石 良美

ご利用者様への面会について、新型コロナウイルスが全国的に蔓延し始めた状況を受け、2月26日より自粛することとなりました。自粛期間中はご家族様が来所された際にメッセージを書いて頂き、ご家族様の想いを感じて頂けるよう代読させて頂きました。文章を噛み締めながら、会えることを心待ちにして涙する方、ご家族様宛てにお返事をお書きになる方もいらっしゃいました。私達は、ご利用者様・ご家族様のパイプ役を担っているという事を常に念頭に入れ、コロナを持ち込まないよう強く意識し、感染症予防に取り組んできました。

緊急事態宣言が解除となり、条件付きで6月より面会を再開することとなりました。感染症拡大予防として、面会者様は1名とし、手洗い・うがいの実施、マスクの着用はもちろん、体調チェックと検温・間隔を取りながら、フェイスシールド着用にて10分間の面会にご協力をいただき、予約制で受け付ける形で開始しました。限られた時間の中、ご利用者様・ご家族様にはご不便をおかけしたことと思いますが、お顔が見えると自然と笑みがこぼれ、嬉しそうな表情で、近況報告をしながら再会を喜ばれている様子でした。久しぶりの再会に、私たち職員も心が温くなる瞬間でした。

面会の条件が多く大変心苦しく思っておりますが、今後も安心してご面会して頂けるよう、状況に応じた面会を計画したいと思います。



新型コロナウイルスの感染予防対策について

デイサービス課 課長 児玉 美紀

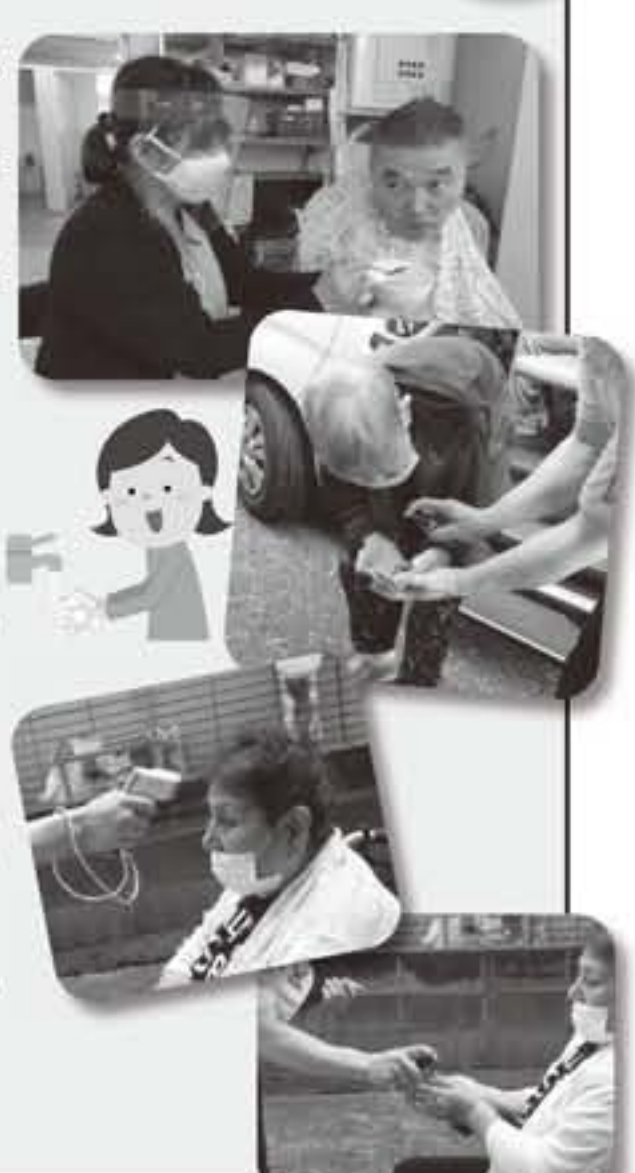
高齢者の重症化リスクが高いと言われている新型コロナウイルス感染症は、感染予防対策と感染の拡大防止に万全を期すことが、最も重要だと考えられています。

現在当センターでは、感染予防対策を強化し、3密を避けた状態でのサービス提供を実施しています。具体的な対策として、従来からの感染症予防の取り組みに加え、対面を避けるため、25名定員を一日18名の受け入れ人数に縮小しました。また、朝の送迎時ご利用者様の検温を行い、窓や扉を開放し常時換気を行い、デイルームの外に普段会議等を行う部屋も開放して、ソーシャルディスタンスを確保できるようにしています。

職員に関しては、出勤前の検温から始まり、入浴介助時のマスク着用、食事介助時のフェイスガード装着、居室や送迎車両の消毒等、これからの気温上昇に不安を感じながらも、衛生管理の徹底に努めています。

このような対策強化前には、ご利用者様・ご家族様の方々に対して、利用回数の削減や休止等、とても心が締め付けられるお願いをするにあたり、本当に快くご了承いただきましたことを、深く深く感謝いたします。

未だに、新型コロナウイルス感染症の予防ワクチンや治療法が確立されていない状況化の中、これからも正確な情報に基づいた感染症予防対策を継続することになります。引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



多居室



映画鑑賞

介護課多居室 介護職員 鈴木 加奈子

文月となり、活動的な季節になりました。通常、この季節はマザー牧場へ出かけたり、お洒落をしてレストランでランチを楽しむなどの、外出をしています。しかし、新型コロナウイルスの影響で、通常とは異なる対応が求められています。国や県からの指示・要請による感染予防を最優先に、外出は控え、施設内でご利用者様が笑顔で楽しんで頂ける余暇活動を試行錯誤の日々です。また、山の手フラワーヒル祭りも中止となり、楽しい行事が次々と中止となり残念でなりません。そこで、ご利用者様の心に元気を届けられるようにと思いを込めて、サービス課協力の元、ささやかながら映画鑑賞会を行いました。映画鑑賞と言うと、密なイメージがありますが、換気、消毒は勿論、席の間隔も空け、密にならないように席の位置も工夫しました。カーテンを閉め、スクリーンの映る昭和のスターは眩しく「わあ〜」と歓声が沸きます。ご利用者様の一人ひとりの思い出が紐解かれ、「映画はやっぱり白黒よね」「この俳優さん懐かしいわ〜」と熱心に鑑賞されて、とても喜んでくださいました。また、若い頃の話などを教えて下さり、有意義な時間を過ごして頂いたようで私も嬉しく思いました。

「銀幕のスターはやっぱり素敵ね」と拍手喝采で幕を閉じましたが、全てのご利用者様に映画のような歴史があります。垣間見えるエピソードの数々はいつも、楽しくもあり心温まる事ばかりです。私は銀幕のスターよりご利用者様の方が素敵に思います。余暇活動はご利用者様の心を弾ませ、瞳を輝かせ、私達職員の気持ちを喜びで満たしてくれます。私達は家族同然にご利用者様をコロナから守らなくてはなりません。プライベートも意識して行動するよう、より一層気を付けたいと思います。



ユニット棟



クラブ活動

介護課ユニット 介護職員 森田 友春

ユニット棟では、ご利用者様により良い充実した生活をして頂ける様、今年度よりクラブ活動を立ち上げ、誰もが参加出来る様、絵手紙、書道、編み物、音楽、体操、読み聞かせといった様々なクラブの準備を進めてきました。そんな中、新型コロナウイルス感染症が2月から流行しだし、音楽クラブや体操クラブは、当初全員で1つのフロアで活動を行う予定でしたが、フロアごとの活動へ変更、発声をしないよう歌の活動は自粛する事としました。密を避ける為、一人ひとりの距離も保つよう意識しました。全員で元気に取り組む姿を思い描いていた事もあり、少し寂しく思いましたが、ご利用者様が安全に過ごせるよう、個々に出来るクラブ活動を行いました。

好きなクラブを一つ選んだ方や、色々なクラブに積極的に参加される方等様々です。外出もご家族様との面会も出来ない状況の中、少しでもご利用者様に楽しんで頂きたいという思いでクラブ活動を行いました。ご利用者様は、とても生き生きとした表情で参加されていて「上手に書けた!」「娘に送ろうかな」とにこやかにお話しされていました。この数カ月、職員も緊張感のある生活の中、いつもと変わらないご利用者様の笑顔を見ると、とてもホッと安らぎました。6月よりご面会が開始され、益々笑顔が増えて大変嬉しく思います。

ご利用者様のストレス軽減という事を考えるとクラブ活動の期待は大きいです。今以上に充実した楽しいクラブ活動が行なえるよう、職員一同取り組んでいきます。緊急事態宣言が解除されて一カ月が経ちましたが、気を緩める事無く過ごしていきたいと思っております。



デイサービス

現在のレクリエーションについて

デイサービス課 介護職員 蛸島 理恵子

新型コロナウイルス感染症予防対策前には、集団プログラムによる日替わりレクリエーション活動などを行い、ご利用者様からご好評をいただいておりますが、現在は、ソーシャルディスタンスを守る為、お一人お一人が、個々に楽しめるレクリエーションを中心に実施しております。ご利用者様はチームで行うレクリエーションが好きな方が多いようで、大変に盛り上がる為、ワイワイ楽しむ皆さんの声を聞きける日が待ち遠しいです。

現在はパズルや脳トレーニング、季節の掲示物作成、夏野菜作りなど、ご利用者様の「得意なこと」、「挑戦してみたいこと」を実現し、安全かつ充実した時間を過ごして頂けるよう、職員一同奮闘しております。コロナ第二波が来ると言われている状況ではありますが、幸い、ご利用者様に体調を崩される方もおらず、嬉しく思います。今後も十分に配慮して、ご利用様が楽しめるよう創意工夫したレクリエーションを行っていきたく思います。



防火管理 災害に強い施設へ

防火管理（非常災害対策）委員会 委員長 田中 雅敏

昨年9月の台風被害から10カ月が経過し、季節はまた、台風が訪れる暑い夏となりました。

前回の台風の際は、防災用品の備えにより、人的な被害はなく、ご利用者様の安全を守ることができました。トランシーバーやランタンなど細かな備品、非常用食料の備えがあり、特に効果を感じたのは、自家発電機による電源の確保でした。ライフラインの一つであるエアコンを稼働できたことはご利用者様の体調管理に大きな成果を発揮してくれました。

今回の経験を踏まえポータブル発電機や暖房器具として石油ストーブ、排水用ポンプなどを追加し、更に断水時の水を確保するために井戸の設置も行いました。ポンプで汲み上がる仕組みになっていて、蛇口をひねればきれいな水が出てきます！風水害だけでなく全ての非常災害に特化した体制作りを目指しています。一番に願うのはこの備品が活躍しないことですが、いざという時に備えておくことはとても大切です。これからも備品の拡充はもちろんですが、日ごろの訓練にも力を入れ、災害に強い施設にしていきます。



自家発電機



ポータブル発電機



駐車場井戸水

介護福祉士合格



介護課多床室 介護職員 日下部 信行
この度、介護福祉士国家資格に合格しました。資格取得の為に改めて学んだ事を、ご利用者様の笑顔のために役立てて行きたいと思っております。まだまだ及ばない所もありますが、これからも自身のスキルアップに努めて参りますので、よろしくお願致します。

介護課ユニット 介護職員 平野 愛美
私は、ご利用者様により良いサービスを提供したく、介護福祉士取得を目指しました。そして、この春、無事に介護福祉士を取得する事が出来ました。これからも資格者として日々、技術・知識の向上を忘れずにご利用者様が安心して、絶えず笑顔で生活出来るように、頑張りたいと思います。



編集後記

(M・W) 今回の文音はコロナ禍の中、施設での対応やご利用者様の安全に直結するよう心から願っております。コロナ対策を徹底し、職員としてふらさわしい行動をするよう職員様へお願いいたします。

多床室棟エレベーターリニューアル工事

多床室棟エレベーターの一部部品の供給停止に伴い、リニューアル工事を行いました。扉は温かな木目調へと変わり、照明や操作盤等も新しくなりました。また、変わったのは見た目だけではなく、耐震設備も導入し、安全装置も更新しています。業者様にもご理解ご協力を頂き、コロナ対策をして頂いた中で長期工事でしたが、工期通りに完工しました。



駐車場新設工事

施設職員用の駐車場が新設されました。広々とした駐車場で、45台分が新たに新設され、職員全員分の車輛が駐車可能となりました。明るい外灯も付いているので、日が落ちた後も安心です。井戸も併設しており、有事の際は水の供給も出来るようになっています。

